

2021年度 第1四半期の業績の概要

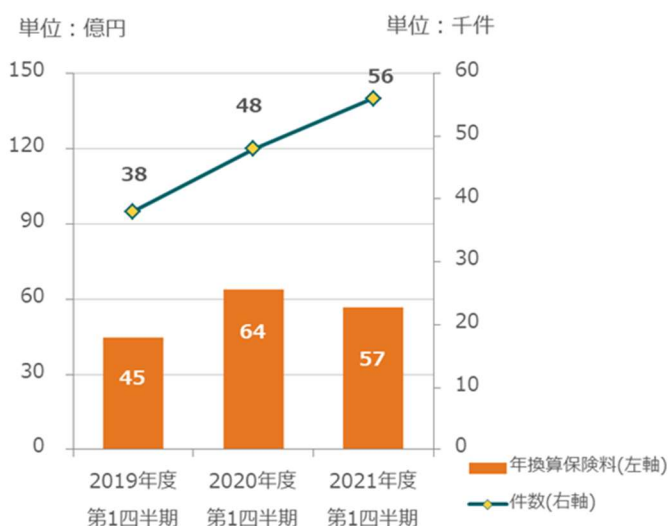
FWD富士生命保険株式会社（代表取締役社長兼CEO山岸 英樹）は、2021年度第1四半期（2021年4月1日～6月30日）の業績をお知らせいたします。

なお、金額、件数は記載単位未満の端数を切り捨てており、諸比率は四捨五入によって表示しています。

トピックス

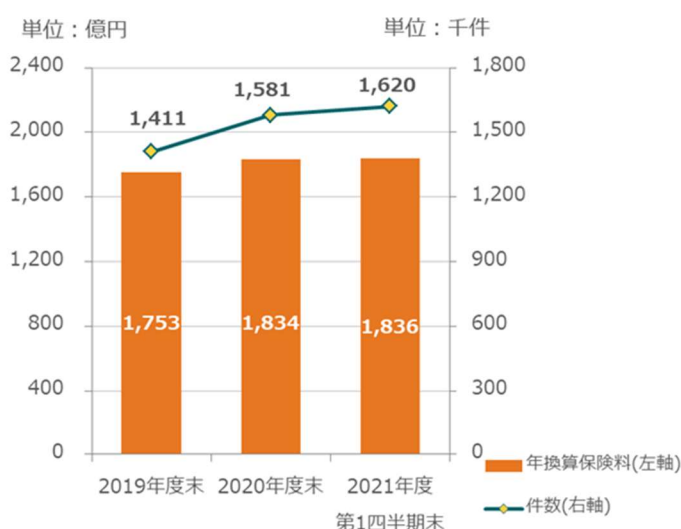
1. 新契約件数・新契約年換算保険料

新契約件数は56千件となり、新契約年換算保険料は57億円となりました。



2. 保有契約件数・保有契約年換算保険料

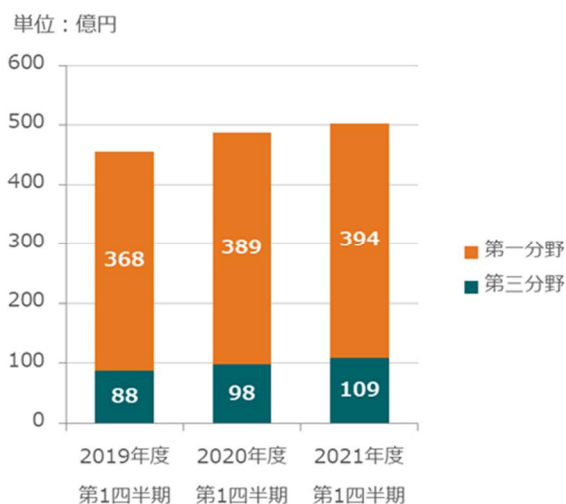
保有契約件数は1,620千件となり、保有契約年換算保険料は1,836億円となりました。



3. 保険料収入

保険料収入は前年同期から3.3%増加し503億円となりました。

内訳	第一分野	394億円
	第三分野	109億円



4. 総資産

総資産は2020年度末から0.1%減少し10,198億円となりました。

5. 純利益

純利益は17億円となりました。

6. ソルベンシー・マージン比率

ソルベンシー・マージン比率は2020年度末から53.6ポイント増加し、1,210.6%となりました。

2021年度第1四半期報告

FWD 富士生命保険株式会社（代表取締役社長兼 CEO 山岸英樹）の2021年度第1四半期（4月1日～6月30日）の業績は添付のとおりです。

<目次>

1. 主要業績	1頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	3頁
3. 四半期貸借対照表	6頁
4. 四半期損益計算書	7頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	9頁
6. ソルベンシー・マージン比率	10頁
7. 特別勘定の状況	11頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	11頁

以上

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2020 年度末		2021 年度 第 1 四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数		金 額	
				前年度末比		前年度末比
個 人 保 険	1,574	117,330	1,614	102.5	123,213	105.0
個人年金保険	6	269	6	99.4	267	99.0
団 体 保 険	—	2,425	—	—	2,430	100.2
団体年金保険	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

・新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2020 年度 第 1 四半期累計期間				2021 年度 第 1 四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数		金 額			
			新契約	転換による純増加		前年同期比		前年同期比	新契約	転換による純増加
個 人 保 険	48	6,503	6,503	—	56	115.4	8,184	125.9	8,184	—
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 保 険	—	33	33	—	—	—	16	50.0	16	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2020 年度末	2021 年度	
		第 1 四半期会計期間末	前年度末比
個 人 保 険	181,225	181,405	100.1
個 人 年 金 保 険	2,258	2,253	99.8
合 計	183,483	183,658	100.1
うち医療保障・生前給付保障等	59,578	59,815	100.4

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2020 年度 第 1 四半期累計期間	2021 年度	
		第 1 四半期累計期間	前年同期比
個 人 保 険	6,467	5,717	88.4
個 人 年 金 保 険	—	—	—
合 計	6,467	5,717	88.4
うち医療保障・生前給付保障等	1,447	1,798	124.2

- (注) 1. 年換算保険料とは、1 回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1 年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

(1) 資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	2020 年度末		2021 年度 第 1 四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金 ・ コ ー ル オ ー ン	25,959	2.5	17,810	1.7
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—
有 価 証 券	915,223	89.6	925,316	90.7
公 社 債	294,208	28.8	303,574	29.8
株 式	56,946	5.6	63,858	6.3
外 国 証 券	563,927	55.2	557,734	54.7
公 社 債	524,775	51.4	513,371	50.3
株 式 等	39,152	3.8	44,363	4.3
そ の 他 の 証 券	140	0.0	149	0.0
貸 付 金	18,788	1.8	19,012	1.9
不 動 産	12,672	1.2	12,687	1.2
繰 延 税 金 資 産	—	—	—	—
そ の 他	48,720	4.8	45,087	4.4
貸 倒 引 当 金	△30	△0.0	△30	△0.0
合 計	1,021,332	100.0	1,019,885	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	498,585	48.8	506,084	49.6

(2) 有価証券の時価情報 (売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位：百万円)

区 分	2020 年度末					2021 年度 第 1 四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の債券	73,983	73,928	△54	—	54	74,015	72,419	△1,595	—	1,595
責任準備金対応債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	748,532	761,334	12,801	18,390	5,588	743,657	759,233	15,576	19,013	3,436
公 社 債	217,606	219,821	2,215	2,240	24	226,506	229,054	2,547	2,579	31
株 式	347	868	520	520	—	347	769	422	422	—
外 国 証 券	530,466	540,504	10,037	15,601	5,563	516,689	529,260	12,570	15,976	3,405
公 社 債	516,116	524,775	8,658	14,143	5,484	502,338	513,371	11,032	14,402	3,369
株 式 等	14,349	15,728	1,379	1,458	78	14,351	15,889	1,538	1,573	35
その他の証券	112	140	28	28	—	114	149	34	34	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	822,515	835,262	12,746	18,390	5,643	817,672	831,652	13,980	19,013	5,032
公 社 債	291,589	293,750	2,160	2,240	79	300,521	301,473	951	2,579	1,627
株 式	347	868	520	520	—	347	769	422	422	—
外 国 証 券	530,466	540,504	10,037	15,601	5,563	516,689	529,260	12,570	15,976	3,405
公 社 債	516,116	524,775	8,658	14,143	5,484	502,338	513,371	11,032	14,402	3,369
株 式 等	14,349	15,728	1,379	1,458	78	14,351	15,889	1,538	1,573	35
その他の証券	112	140	28	28	—	114	149	34	34	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

2. 「金銭の信託」については該当ありません。

- ・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	2020 年度末	2021 年度 第 1 四半期会計期間末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	58,279	65,549
その他有価証券	14,695	17,731
非上場国内株式（店頭売買株式を除く）	78	128
非上場外国株式（店頭売買株式を除く）	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	14,617	17,603
合 計	72,975	83,281

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	2020 年度末 要約貸借対照表 (2021 年 3 月 31 日現在)	2021 年度 第 1 四半期会計期間末 (2021 年 6 月 30 日現在)
	金額	金額
(資産の部)		
現金及び預貯金	25,959	17,810
有価証券	915,223	925,316
(うち国債)	(284,174)	(293,722)
(うち社債)	(10,034)	(9,852)
(うち株式)	(56,946)	(63,858)
(うち外国証券)	(563,927)	(557,734)
貸付金	18,788	19,012
保険約款貸付	18,783	19,008
一般貸付	4	4
有形固定資産	13,611	13,564
無形固定資産	8,781	8,845
代理店貸	30	30
再保険貸	16,742	15,332
その他資産	22,164	19,937
前払年金費用	61	64
貸倒引当金	△30	△30
資産の部合計	1,021,332	1,019,885
(負債の部)		
保険契約準備金	911,089	925,388
支払備金	5,671	6,335
責任準備金	905,147	918,752
契約者配当準備金	269	300
代理店借	3,491	2,875
再保険借	14,917	7,367
その他負債	26,671	12,540
未払法人税等	250	80
資産除去債務	502	503
その他の負債	25,917	11,956
役員退職慰労引当金	67	32
価格変動準備金	2,738	2,904
繰延税金負債	5,503	6,802
負債の部合計	964,478	957,912
(純資産の部)		
資本金	37,750	37,750
資本剰余金	27,750	27,750
資本準備金	27,750	27,750
利益剰余金	△22,874	△21,087
その他利益剰余金	△22,874	△21,087
繰越利益剰余金	△22,874	△21,087
株主資本合計	42,625	44,412
その他有価証券評価差額金	14,229	17,559
評価・換算差額等合計	14,229	17,559
純資産の部合計	56,854	61,972
負債及び純資産の部合計	1,021,332	1,019,885

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	2020 年度	2021 年度
		第 1 四半期累計期間 (2020 年 4 月 1 日から 2020 年 6 月 30 日まで)	第 1 四半期累計期間 (2021 年 4 月 1 日から 2021 年 6 月 30 日まで)
		金額	金額
経常収益		82,529	85,201
保険料等収入		72,985	75,905
保険料		48,732	50,324
再保険収入		24,252	25,581
資産運用収益		8,730	8,751
(うち利息及び配当金等収入)	(3,671)	(6,425)
(うち有価証券売却益)	(4,719)	(430)
(うち為替差益)	(323)	(1,863)
その他経常収益		813	544
経常費用		80,099	83,111
保険金等支払金		47,560	52,226
保険金		2,327	3,067
年金		882	764
給付金		2,840	2,865
解約返戻金		9,637	11,687
その他返戻金		1,167	987
再保険料		30,705	32,855
責任準備金等繰入額		15,991	14,268
支払備金繰入額		1,050	663
責任準備金繰入額		14,940	13,604
契約者配当金積立利息繰入額		0	0
資産運用費用		2,747	2,577
(うち支払利息)	(1)	(2)
(うち有価証券売却損)	(856)	(3)
(うち金融派生商品費用)	(1,587)	(2,293)
事業費		12,686	12,773
その他経常費用		1,113	1,264
経常利益		2,429	2,090
特別損失		143	167
固定資産等処分損		—	1
価格変動準備金繰入額		143	166
契約者配当準備金繰入額		48	52
税引前四半期純利益		2,237	1,870
法人税及び住民税		274	82
法人税等合計		274	82
四半期純利益		1,963	1,787

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2021年度第1四半期会計期間末

- 「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日、以下「時価算定会計基準」という)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。
- 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表価額は、62,737百万円であります。
- 契約者配当準備金の異動状況は以下のとおりであります。

イ. 当期首現在高	269百万円
ロ. 当第1四半期累計期間契約者配当金支払額	22百万円
ハ. 利息による増加等	0百万円
ニ. 契約者配当準備金繰入額	52百万円
ホ. 当第1四半期会計期間末現在高	300百万円
- 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

(四半期損益計算書関係)

2021年度第1四半期累計期間

- 1株当たり四半期純利益は1,364円72銭です。なお、潜在株式はありません。
- 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

		2020年度 第1四半期累計期間	2021年度 第1四半期累計期間
基礎利益	A	152	2,672
キャピタル収益		5,042	2,293
	金銭の信託運用益	—	—
	売買目的有価証券運用益	—	—
	有価証券売却益	4,719	430
	金融派生商品収益	—	—
	為替差益	323	1,863
	その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用		2,443	2,297
	金銭の信託運用損	—	—
	売買目的有価証券運用損	—	—
	有価証券売却損	856	3
	有価証券評価損	—	—
	金融派生商品費用	1,587	2,293
	為替差損	—	—
	その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益	B	2,599	△3
キャピタル損益含み基礎利益	A+B	2,751	2,669
臨時収益		—	—
	再保険収入	—	—
	危険準備金戻入額	—	—
	個別貸倒引当金戻入額	—	—
	その他臨時収益	—	—
臨時費用		321	578
	再保険料	—	—
	危険準備金繰入額	321	578
	個別貸倒引当金繰入額	—	—
	特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
	貸付金償却	—	—
	その他臨時費用	—	—
臨時損益	C	△321	△578
経常利益	A+B+C	2,429	2,090

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2020 年度末	2021 年度 第 1 四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	125,075	132,601
資本金等	42,625	44,412
価格変動準備金	2,738	2,904
危険準備金	10,483	11,062
一般貸倒引当金	—	—
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合 100%)	17,797	21,985
土地の含み損益×85%(マイナスの場合 100%)	△510	△ 474
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	53,369	52,710
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△1,427	—
控除項目	—	—
その他	—	—
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$ (B)	21,619	21,905
保険リスク相当額 R1	1,387	1,396
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	853	850
予定利率リスク相当額 R2	504	506
最低保証リスク相当額 R7	—	—
資産運用リスク相当額 R3	20,303	20,579
経営管理リスク相当額 R4	691	700
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,157.0%	1,210.6%

(注) 上記は、保険業法施行規則第 86 条、第 87 条及び平成 8 年大蔵省告示第 50 号の規定に基づいて算出しています。

(参考) 実質資産負債差額

(単位：百万円)

項 目	2020 年度末	2021 年度 第 1 四半期 会計期間末
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	1,020,766	1,017,814
負債の部に計上されるべき金額の合計額を基礎として計算した金額 (2)	892,382	884,432
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	128,383	133,382
満期保有目的の債券・責任準備金対応債券の含み損益 (4)	△54	△1,595
実質資産負債差額 B (3) - (4)	128,438	134,978

- (注) 1. 「実質資産負債差額 A」は、実質資産負債差額の算出方法を定めた保険業法第 132 条第 2 項に規定する区分等を定める命令第 3 条および平成 11 年金融監督庁・大蔵省告示第 2 号の規定に基づき算出しています。
2. 「実質資産負債差額 B」は、「実質資産負債差額 A」から満期保有目的の債券および責任準備金対応債券の時価評価額と帳簿価額の差額を控除したものであり、上記 1.の規定に加え保険会社向けの総合的な監督指針Ⅱ-2-2-6に基づき算出しています。

7. 特別勘定の状況

該当ありません。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

当社の連結子会社である GC 品川 特定目的会社等は東京都において賃貸等不動産を保有しております。連結子会社の当第 1 四半期連結会計期間末における賃貸等不動産の貸借対照表価額は 35,885 百万円、時価は 37,900 百万円であります。

連結子会社の当第 1 四半期連結累計期間の経常収益は 370 百万円（前年同期 377 百万円）、経常利益は 117 百万円（前年同期 119 百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 116 百万円（前年同期 118 百万円）であります。

連結子会社では不動産の保有及び管理等に係る業務以外は行っていないため、この資料における連結財務諸表の開示は省略しています。